



ゆのおっ子だより

令和6年度 湯尾小学校長だより
2024.9.18 NO. 22

— みんなで生きるまち（4年生） —



4年生の総合学習では、「ふくし」について学習を進めています。「ふくし」とは「ふだんの 暮らしの しあわせづくり」です。全ての人にとって、暮らしやすいまちにするにはどのようにしていけばいいのかについて考えていきます。

今年度の4年生は、「ふくし」について2ヶ月かけて町の福祉課と協力しながら学びを広げていきます。「手話体験」「アイマスク体験」「点字体験」「車椅子・高齢者疑似体験」「盲導犬について」「高齢者施設訪問」などたくさんの体験を計画しています。この体験を通して、「誰もが住みやすいまちとはどんなまちなのか」を4年生なりに考えてほしいと思います。この成果については、学習発表会にてお知らせできると考えています。どんな発表になるか、楽しみにしてください。

さて、12日（木）に「手話体験教室」がありました。越前市より森本ご夫妻を講師としてお招きし、子どもたちに手話を教えていただきました。森本ご夫妻は、他の学校でもボランティアで手話教室をしていらっしゃるということで、大変上手に面白く教えていただきました。子どもたちは、とても楽しく手話に親しむことができました。最初は緊張して硬い表情の子どもたちも、森本ご夫妻の明るい表情に感化され、笑顔で手話ができるようになりました。この日は、自己紹介やあいさつとして「世界に一つだけの花」の1番を手話で教えていただきました。



森本ご夫妻です。
とってもフレンドリーな先生です。



とてもいい表情で、あいさつができるようになりました。



♪ せかいにひとつだけのはーなー ♪
歌いながらはなかなか難しいですが、この通り子どもたちは素晴らしい！



子どもたちの柔軟な頭は、すぐに手話を覚えることができていました。「子どもってすごいな」と改めて感心しました。

今日教えていただいた手話は、子どもたちが自主的に練習して完璧にする予定です。来月には、森本ご夫妻に再度おいていただき、子どもたちの練習の成果を見ていただきます。そして、全員で「手話マスター」を目指す予定です。